

# ライフスタイルを華やかにする 服づくりを目指して。

青木 俊樹

専務取締役 / デザイナー・ブランド事業部

小さな頃から音楽が好きだった青木さん。大学時代に、自分の好きなバンク  
ロックミュージシャンのMVを見て、その世界観を表現する衣装デザインに感銘  
を受け、自分もそこに携わりたいという思いから、この業界に入ったそうです。最初  
の就職先の手アパレルメーカーでは、生産管理を担当していましたが、デザイ  
ナーやディレクターなどの仕事を間近に見るうちに、自分もデザインなどもっとクリ  
エイティブな仕事がしたいと思うようになり、退職しロンドンの芸術大学へ留学。  
授業では自分自身を表現することを学びながら、古着屋や現地のデニムブランド  
でインターンとしても働き、業界の流れや仕事を実践的に学びました。「留学期  
の後半は、授業と並行して、自分の立ち上げたブランド「FAGASSENT」を売り  
込みに、週末ごとに各国を巡ったりもしました。大変でしたけど、没頭してがむ  
しゃらに頑張ること、それを継続していくことが自信に繋がっていきましたね。」帰  
国後は、家業である青木被服に入社し、デザイン・企画を担当しています。

「倉敷美観地区にある青木被服倉敷SOLA店が今年一周年を迎えました。こ  
の店舗は、技術や美術といった日本特有の色々な「技」を融合させたものを目指  
しています。アーティスティックなもののづくりが倉敷の雰囲気と溶け込んで、お客  
様にしっかりプレゼンテーションができていていると思っています。インバウンドのお  
客様にも「和テイスト」は受け入れられています。着物の袖をデザインに取り入れ  
たTシャツなど、和テイストのものづくりにはこだわりを持っています。」

「去年の11月から新たにオンラインサイトを立ち上げました。現在はかなり軌道  
に乗ってきています。高価格帯の商品を受注生産でオンライン販売していますが、最近  
はコンスタントに受注が入ってくるようになりました。受注から2ヶ月で納  
品できる体制を整えているのですが、そのような体制が組めるのも、やはりファク  
トリーブランドならではの強みだと思っています。今後は受注生産を量産体制に  
までもっていけるよう、オンラインサイトを活性化させたいですね。」



## もっと生の声

### Q & A

- 今後取り組んでみたい、実現してみたいことは？  
意識してやっているわけではないのですが、ご縁があつて自然の流れで多方面でのコラボレーションが増  
えてきました。海外大手自動車メーカーとのコンセプト  
カーの制作やデニムを使った空間プロデュース、ア  
ートとファッションの融合をテーマとした1点物を制作する  
コラボレーションなどです。デニムメーカーだけれど色  
んなことをしているメーカーだと思っはいいですね。  
今までのデニムというイメージだけではなく、コラボレ  
ーションごとに新たなコンセプトを提案することで、企業価  
値やブランド価値を高めていきたいと思っています。
- 自社の強みはなんですか？  
今のファッションマーケットは1点ものが増えていて、どれ  
だけ付加価値が出せるかということが大事になっていま  
す。さらに今のデニムファクトリーには、技術もありながら  
スピード感や生産能力も備えていることが求められていま  
す。弊社の強みはまさに、1点物を制作できる技術も  
ありながら、量産もできる体制を備えているところですね。
- 将来繊維産業に従事する人へメッセージをください。  
ゼロから何かを生み出すというのもデザインなのですが、  
世の中にあるデザインを足したり引いたり、掛け算したり  
して、新たなストーリーを組み立てていくプレゼン能力と  
いうのもデザインだと思います。それにはやはり、洋服のこ  
とをある程度分かっていることが必要です。色々なことに  
チャレンジして、総合的な力を身につけてください。

